

高山・市民の森 森林教室実施報告書

今回のテーマ： 「木の実の動物づくり」

- 1 実施日時： 平成 26 年 9 月 14 日（日） 10:00～14:15
- 2 参加講師名： NPO 森林インストラクターしずおか
担当者： 中川昌昭、早川和男
アシスト会員： 青野ダイチ、井上俊、内野則夫、大石正教、越智寿美子、
小久保忠嘉、小嶋博、杉山雅章、高橋健三、増田将、矢下博
- 3 参加者： 21 人（大人 9 人、子ども 12 人）、7 家族

4 概要：

晴れて穏やかな日中で、アウトドアの行事をするには打って付けの日でした。

午前中は「森の自然観察会」をして、午後は「木の実の動物づくり」をしました。病気や怪我などもなく、平穏にして楽しげな森林教室とすることができました。スズメバチやカなど害になる昆虫類の出現もなく安心・安全な観察会でした。

三連休の中日ということもあってか参加者が少なく、それだけに 1 家族につき 1～2 名のインストラクターが付くことができ、きめ細かな対応ができたようでした。参加者に喜んでもらえました。

*午前中の観察会

- ① 出発前にまず、この時期に活発になるスズメバチから身を守る方法をよく説明しました。
- ② その後、各家族ごとに森の観察会に出発しました。コースは家族の年齢構成や参加者の希望でそれぞれに分かれました。
- ③ 頂上へ向かったグループ、下の池から展望台へ登ったグループ、遊びの森を周回したグループなど様々でした。
- ④ この日は、展望台からは静岡市がよく遠望できました。
- ⑤ クサギ、タマアジサイ、ミズヒキ、キンミズヒキ、オトコエシ、ツルリンドウ、ヤマジノホトトギスなど、たくさんの秋の花が見られました。
- ⑥ 展望台付近で、カモシカの姿をみかけたグループもありました。
- ⑦ クロモジの枝を折って匂いを嗅いだり、花盛りのクサギの葉の匂いを嗅いだり、またミツマタの枝を折ってみてその繊維の丈夫さを体験したりもしてもらいました。
- ⑧ 春には山菜として利用できるタラ、クサギなど、自然の恵みについて解説する一方で、

ミヤマシキミなどの有毒植物についても注意を促しました。

⑨ ヤブマオの葉で「ポン！」と音を出す遊びや、キブシの小枝の髓を押し出す「鉄砲」遊びなどにも親子共々興じてもらいました。

*午後の工作

- ① 午後は様々な木の実を木の台の上に乗せ、動物や造形を作りました。
- ② 子どもたちの独創的なアイデアによる造形には、指導者であるインストラクターも感心することもしばしばでした。
- ③ 出来上がった作品を大事に持って、みんな笑顔で帰って行きました。

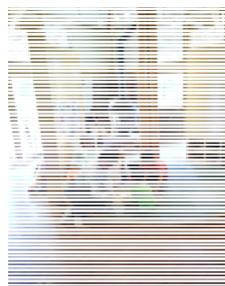
5 記録写真



朝の挨拶へ向け集合



午後の木の実の動物づくり



休憩時間の積木遊び



参加者の作品の一部